

令和4年4月号
(No.222)

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠園
平塚市豊原町 23 - 14

隊友

湘南支部ニュー

国民と自衛隊との架け橋！

令和4年度隊友会湘南支部
活動に際して
湘南支部長 清崎 忠園

中国での冬季オリンピック終了を待っていたかのようにロシアのプーチン大統領は演習と称して配備させていた部隊を急遽ウクライナ国へ向け侵攻させ、その軍事行動は今や国際法の無視、戦争犯罪化しウクライナ東部を中心に民間人の殺害、略奪、性暴力、無差別攻撃はもはやバイデン大統領をして「ジエノサイド（集団殺害）」に当たるとの認識をさせるに至っていることは皆さん方ご承知の通りであります。そのような事態の中、令和4年4月9日実施計画の当支部総会は、今年度もコロナ禍の影響を鑑み議案の郵送による審議となりましたが、会員各位のご協力によりその目的を無事達成することができました。事務御礼申し上げます。なお総会議案の審議結果につきまして別途「令和4年度定期総会議案の審議結果について（報告）」として細部につき郵送させていただきますのでご承知ください。この報告文書は、本支部ニュース配送到前後して配達されると思います。審議結果は第1号、第2号、第3号及び第4号の各議案すべてが「承認」されました。ありがとうございます。

南支部活動計画」に在りませんが、主要活動の他に次の事も計画しております。

①従来11月に計画しておりました安全保障トークサロンを10月実施に前倒しを行い、総会時(4月)の防衛講演会との期間を半年とします。

②最も大きな課題の一つですが、昨年度末の会員数が200名となり昨年度当初から10名近く減少しております。その原因の一つが、年会費を2年間滞納となると隊友会を退会となる規則によるものです。コロナ禍の影響で2年間の支部活動のブランクの影響もあることかと思われれます。また高齢会員の逝去、体調不良等の理由で退会止むなきの会員も含まれます。令和4年度は、会員担当主任を中心としてその減耗防止並びに会勢の挽回を図る計画ですが、正会員、特別会員各位のご協力が必要でありますので、入会情報等の入手及び「入会声掛け運動」をお願い致します。

③理事役会は対面式会議を原則としておりますが、メール配信による会議も行っております。今年度はこれに加えてオンラインによる理事役会の開催の可能性について研究し、今後コロナ禍の影響が長引けば対面式会議の補用としてその活用を期待しています。

④最後に 理事役会はボランティア活動とは申せ、魅力ある支部活動の一環として年間11回計画しております理事役会出席理事役の交通

費の支弁について検討し、その内規化を目指します。

以上のように、支部活動の中核となり各担当主任を中心とする諸検討を基に、一層活気ある支部となります。理事役会一同努力致しますので、会員皆さんからのご協力、ご鞭撻を賜ります様お願い致します。

湘南支部 表彰状・感謝状贈呈

令和4年度の表彰状・感謝状が次の方々へ支部長から贈呈されました。

表彰状（正会員）

- 北川正代 様（長年に亙り支部理事役として協力、支援を頂き、昨年度末横須賀支部へ移籍。）
- 感謝状（特別会員）
- 宅野順彦 様（平成27年以来支部特別法人会員「平塚八幡宮」としての協力、支援活動中。）
- 飯島邦光 様（平成24年以来支部特別会員としての協力、支援活動中。）
- 松澤弘海 様（平成25年以来支部特別会員としての協力、支援活動中。）
- 府川太郎 様（平成26年以来支部特別会員・相談役としての協力、支援活動中。）
- 甘粕和彦 様（平成26年以来支部特別会員としての協力、支援活動中。）
- 吉田清人 様（平成27年以來、支部特別会員としての協力、支援活動中。）

令和4年度支部総会（4月9日）は、昨年度に続き、新型コロナウイルス禍のため中止となり総会の場で支部長からの表彰状・感謝状の贈呈が実施できず、郵送（一部の方へは手渡し）により感謝状贈呈となりました。7名の方々へのこれまでのご協力、ご支援に対し心から厚く感謝申し上げますと共に今後とも宜しくお願い申し上げます。（記 支部長）

改めてLCPは大切

支部理事役（防災士）鼓 達也

ウクライナにロシアが侵攻（戦争）のニュースをテレビで見ている際に気になったことがある。それは空爆や戦車が走る中、日常生活を営む人々の姿である。

日本においても、防災対策が進み自治会での防災訓練や企業のBCP策定などが進められ防災に興味を持つものが増えてきている。個人的には防災というとまだ専門家や特殊な資格や訓練を積んだ人たちが行うものと認識している方が多い気がする。しかし、災害やテロや戦争などの危機は日常生活の延長線上にあり、誰にでも関係するのである。つまりその危機下でも日常生活をいかに継続するかが個人の課題となる。

災害に備えるということでも何を準備すればよいのか、何から取り掛かればよいのかわからないという方がいる中、戦争に備えるとなるとさらに敷居が高く、別世界の話と考える人もいるのではないかと。

防災用品も普段使用しない備品を購入しづらいというときに使用できなかったという話を聞くが、戦争に備えてガスマスクや防弾チョッキなどのミリタリー用品を買いたくても国が正規品を国民に配布したとしても使い慣れていない防災グッズ以上に意味をなさないと思われる。では何をすべきか？冒頭で述べたようにウクライナ、アフガニスタンやスーダンでもそうであるがテレビで見ると限り装甲車や戦車が街中を走り、空爆のある中、普段より確実に不便であろうが日常生活を営んでいる人々がいる。おそらく彼ら（子女含めて）は軍人でも防災の専門家でもないだろう。そんな彼らは危機の中で、日常生活をいかに継続するかを考えて行動しているのではない。日本であつても災害（感染症を含めて）や戦争に対しても日常生活をいかに継続できるのかを考えて備えるしかない。他力本願では行き詰つてしまう。

身体にとって水は大切

支部理事役（看護師） 鼓 達也
乾燥する時は脱水に注意したい。既

往がある方やコロナ患者も脱水を併発すると予後が悪い。

身体水分は小児では70〜80% 成人で60% 高齢者では50%と年を重ねるごとに身体水分量は減少する。身体が1日に必要な水分量は1.5〜2.8L（食事等を含めての量であり飲み物としては1.5〜2L/日）であり尿・便・汗として同量が排泄される。排泄が不足すると身体は浮腫み、補水量が少ないと身体は乾いて脱水に至り、体温調節機能が低下し熱が上がり体温が1℃上昇すると発汗量が15%上昇するとされ負のスパイラルに陥る。

脱水に至ると腎臓への血流が減少し身体の不純物が排出できない状態の腎不全、血液がドロドロになり脳梗塞など不可逆的な疾患に至るリスクもある。

コロナ患者で自宅療養者の中には怠さがあり食事や水分を十分に摂らない方がいるが、症状をさらに悪化させてしまう。乾燥する時は年齢を問わず意図的に水分を取るような生活習慣に努めることが健康管理上大切である。

湘南支部名所旧跡探勝

ハイキングのご案内

まだまだコロナ禍の厳しい状況が継続していますが、3回目のワクチン接種が進んでいることもあり、名所旧跡探勝ハイキングを次のとおり計画しますので、奮ってご参加下さい。

なお、コロナ禍の状況によっては、中止する場合がありますので、予めご了承ください。

・日付：令和4年6月18日（土）

予備：6月19日（日）

・時間：09:45〜15:50

・場所：二宮、大磯方面
・行動の概要

*集合 09:45 JR二宮駅
*コース

二宮駅〜徳富蘇峰記念館〜相模國
総社六所神社〜旧吉田茂邸〜明治
記念大磯邸園〜東海道松並木〜旧
島崎藤村邸〜JR大磯駅

*解散 15:50 JR大磯駅
*参加費なし ただし入館料は、ご自身でお支払ください。

参加を希望される方は、6月11日までに左記の問合せ先に、ご連絡下さい。別途ご案内致します。（ご家族、ご友人の参加歓迎です。）

※問合せ先：支部理事役 石川潤一
携帯 090・8035・5893
携帯 rvstn303740@docomo.ne.jp
PC sekisen-urui@crest.ocn.ne.jp

防災管理

支部理事役 深澤 文晴

一定規模以上の企業等には、防災管理を実施する義務が生じる。

では、防災管理とはどのような管理なのだろうか？一般的に防火管理という言葉は皆さんお聞きした事があると思います。防火管理は火災予防の観点から火気使用の許可や制限などを自社管理する事です。

防災管理は、自然災害・特殊災害の観点での自社管理となります。

①具体的には、防災計画が所轄消防へ提出されているか？
②地震発生時に避難通路にロッカー

や棚が倒れて障害になるような事はないか？
③またそのような物品に対して転倒防止対策を実施しているか？
④非常物資等が常備され管理されているか？

⑤防災計画に基づき訓練がなされているか？

⑥避難施設の維持管理がなされているか？

⑦一般家庭においても転倒防止対策や避難口の確保、非常時の家族との連絡方法など、日ごろから意識づけしておく事をお勧めします。



新入会員のお知らせ（敬称略）

正会員

・山口真毅 平塚市田村
元陸上自衛隊 座間駐屯地業務隊

「支部の予定」

- ・05/14（土） 第2回支部理事役会
- ・05/19（木） 5月隊友紙発送
- ・06/11（土） 第3回支部理事役会
- ・06/18（土） 予備6/19 名称旧跡探勝
- ・06/22（水） 6月隊友紙発送
- ・08/06（土） 第4回支部理事役会

編集後記

今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。